

交野市教委ニュース

第198号(令和5年10月20日発行)



「グレープ」の児童・生徒が収穫しました!



児童生徒支援ルーム「グレープ」に通う児童・生徒が、秋の収穫をしました。土に触れることで、豊かな感性を育むため、また、学校活動にも近い体験ができるよう、屋外活動の一つとして植物・野菜の栽培に取り組んでいます。育て、収穫することで子どもたちの達成感も得ることができます。

この夏に育てた植物・野菜は、マリーゴールド・ひまわり・ナス・オクラ・サツマイモです。ひまわりは阪神大震災由来の「はるかのひまわり」です。

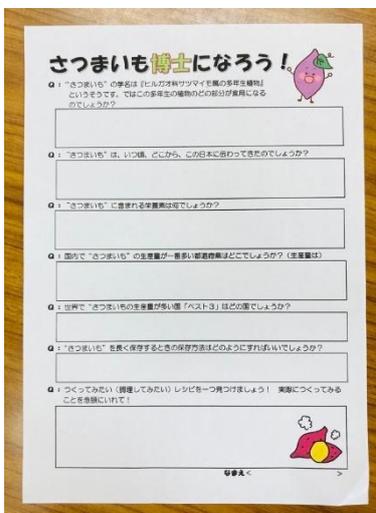
登室日は暑い中も毎日水やりを続け、収穫につながりました。収穫した野菜の調理は自宅で行い、ナスは焼きナス、お味噌汁に、サツマイモは芋ご飯にした児童・生徒もいます。

今は、空いたマリーゴールドのプランターで、次に育てているコスモスが咲くのを待っています。



総合的な学習の視点 での取組みも

収穫後は、総合的な学習の視点で、サツマイモ博士になるべく、サツマイモの生産量や学名など、タブレットでの調べ学習にいどみました。



種をつないで

マリーゴールドの種は、袋に分け、それぞれの在籍校にお渡しいたしました。各校で新たな命が育っていきます。

